

SUPPORTERS CLUB NEWS

友

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会

〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860
〈e-mail〉takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



【鷹山宇一「蟹」 1950年 紙／鉛筆・水彩】

● ミュージアム・コレクションから ⑩ 鷹山宇一「蟹」 ●

「私にはたった一つ自負できる（絵描き魂）があります。それは、自分ほどデッサンを勉強した者は、いないだろうと言いつけることであります。」
1998年、「鷹山宇一卒寿記念展」が開催された折、90才と個展開催を祝したパーティー「茶話会」における鷹山宇一の挨拶にこのような一文があります。

この卒寿展では、「画家である自分の研鑽の場」との意識の下、これまで公開されることなかったデッサンが鷹山自らのセレクトにより展示され、この言葉を裏付ける、精密にして、質感、量感、そして情感あふれるデッサンたちが、訪れる多くの人々を唸らせました。
仕事の合間合間に、本物を見て観察をし、綿々と続けられてきた鷹山宇一のデッサン。地道な訓練の積み重ねが鷹山芸術を支えていたのです。まさに、「舞台裏を見た」思いがしました。

本作品も本物を見て描いたのでしょうか。蟹はガザミでしょうか？卓越した観察力と確かな描写力が表れています。

鷹山美術館に収められた資料に、鷹山宇一直筆の「蟹」にまつわる文章があります。お話の光景が目につかふようで、そして、鷹山宇一というひとりの人間のお人柄が窺われる、楽しい文章です。あわせてご紹介させていただきます。

（宇一書目 大沢 重彦）

「毛ガニ」 鷹山宇一

東京でカニといえば、菱形で、両脇がトンガリ、後足丸く、全体が艶々した学名ガザミといふ奴で、煮ると眞赤になる。このガザミが、遠く江戸の昔からカニ料理の王座にあった。
何世紀か中を効かしたこのガザミも、戦後の乱獲と、海水の汚れで次第に不漁になり、最近では店頭から全く姿を消し、これに代って王座を占めているのが北海産のわが毛ガニである。

私の少年時代、山間にある郷里の素朴な生活の中にあっても、この毛ガニの季節がくると、年一度のものだからと母が生きている毛ガニを家族の頭数だけ買ってきて、モソモソ這まわる奴を大きな鍋に入れ、赤く煮えるのを楽しんだもので、なつかしい。

私が初めて上京した当時は、この毛ガニの姿を見ることがなかったが、今では一般の魚屋でも、デパートの食品賣場でも、冷凍物が出まわって、欲しい時にいつでも買えるので時折り家族と楽しんでいる。

数年前、八戸の孔雀苑に滞在した時、米人のM氏と同宿したことがあった。M氏は、岩国の米軍基地から八戸に派遣された技師で、陽気な好人物らしく、遠く故郷を守る家族の写真を部屋に飾りつけていた。一日このM氏の旅情をなぐさめるべく、土地の友人達とすき焼き会を開いたことがあった。丁度毛ガニの季節であつたらしく、宿の好意で、大きな毛ガニの輪切りが大皿に盛りだてて食膳に運ばれた。こんな大きな毛ガニにお目にかつたのは初めてで、私もビックリした。M氏もすき焼きもさることながら、この毛ガニが大変気に入つたらしく、指を鳴らしながら食べていたが、突然こいつはこれかと、頭に指先で角を生やして見せた。「ノーノー」私は両手を合わせ、指十本開いて動かして見せ、エビではないカニだと教えた。傍の友人の一人が酔にまかせ、横這になつて見せたら、そんなデッカイ奴かと青い目玉をクルクルさせたので、大笑いとなつた。

毛ガニの思いではいつまでも憶えているものである。

鷹山宇一記念美術館友の会

平成19年度通常総会開催



総会で挨拶する盛田会長

鷹山宇一記念美術館友の会平成19年度通常総会が平成19年6月16日午後2時から開催。平成18年度事業報告書・収支決算書及び平成19年度事業計画書・収支予算書の承認議案を始めとするすべての議案が原案どおり可決され、本年度の事業体制が整いました。

また、平成20年12月10日が鷹山宇一誕生100年となることから、美術館の記念事業に呼応して友の会でも記念事業を行うことが承認されました。具体的な事業内容については役員会に一任され、今後財団及び美術館と十分に協議の上決定次第お知らせいたします。

なお、総会資料を別添のとおり同封致します。

本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第1回研修旅行「NHK日曜美術館30年展」!!

平成19年度第1回研修旅行、さる4月15日に岩手県盛岡市の「岩手県立美術館」を訪れました。

心に残る作品に出会う

十和田市 石川みほ

今年も1回目のお楽しみがやって参りました。鷹山宇一記念美術館友の会による研修旅行です。岩手県立美術館の「NHK日曜美術館30年展」。

作品は全部で73点のようでした。テレビの「日曜美術館」は大体観るようになっておりますので、そんなに新鮮な感じは受けませんでした。特異な表現の前では足が止まってしまいます。とは言うものの作品の前をとんとんと進んで行くこともあり申し訳なくもあります。

ここの美術館では5カ所のエリアでビデオ放映しており、次に展示されている画家のインタビューやアトリエ訪問、有名人の解説、対談など、これが10分ぐらいずつに集約されて大変興味深く見ることが出来ました。この心配りに感謝せずにはられません。

今、心に残るのは田中一村の「ピロウとアカシヨウビン」。重なり合ったシルエットの見事なこと。彼の絶望的な人生に比べてあまりに美しすぎます。又、小泉八雲の息子小泉清の「不動明王」は、これでもかこれでもか絵の具をなぐりつけたような盛り上がりは激しさを感じさせると同時に苦悩が感じられて痛々しくもありました。彼は

自ら命を絶っています。どの画家も精根尽きる思いの作品に違いありません・・・
今回も有意義な一日をありがとうございました。



岩手県立美術館前で記念撮影

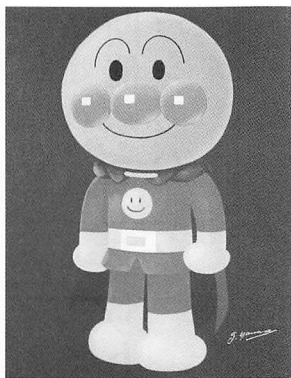
夏の特別展
 元気100倍!

やなせたかしの世界展

～やさしいライオン から アンパンマン まで～
 愛と勇気とやさしさ あふれる 原画 たち

2007年7月15日(日)～9月2日(日) 会期中は無休

鷹山宇一
 記念美術館
 News & Report
 2007年6月15日
 発行



■やなせたかし先生書き下ろしアクリル画
 「アンパンマン」(右)と「ばいきんまん」(左)

みんなのヒーロー「アンパンマン」。絵本『あんなにまん』に登場してから34年、アニメーション化されて19年もの歳月が流れました。愛と勇気とやさしさあふれる正義の味方「アンパンマン」は、今も昔も子どもたちの心を捉え、世代を超えて多くの人々に愛されています。

やなせたかしさんは、その生みの親です。

絵本作家・漫画家としてはもちろん、画家・デザイナー・イラストレーター・詩人・作詞家・雑誌編集者など、やなせさんにはたくさん「顔」があります。

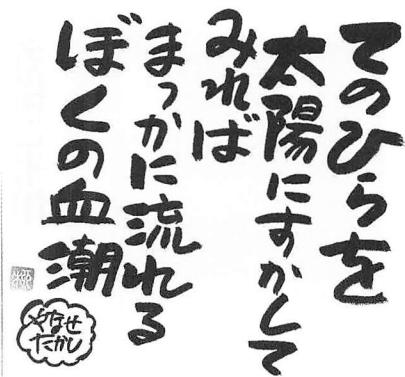
『アンパンマンのマーチ』や、今も多くの人々に歌い継がれている『手のひらを太陽に』は、やなせさんの作詞によるもの。また、絵本『あんなにまん』

まさに多才の人・やなせたかしさんは、今年88才を迎えましたが、その旺盛な創作活動は衰えを知らず、「アンパンマン」同様に元気100倍!です。

本展では、「アンパンマン」を中心としたやなせたかしさん直筆の作品を紹介することにも、半世紀近くの間、絵本や詩・童謡をとおして、子どもたちや社会を見つめ続けてきたやなせたかしさんの仕事を検証し、その心温まる世界を、親子でご家族で、今一度再確認していただこうと願い開催するものです。

また本展を、ご家族の「コミュニケーション」の場としてご利用いただけましたら、望外の幸いに存じます。

夏休みの思い出作りに鷹山宇一記念美術館を是非ご利用ください。



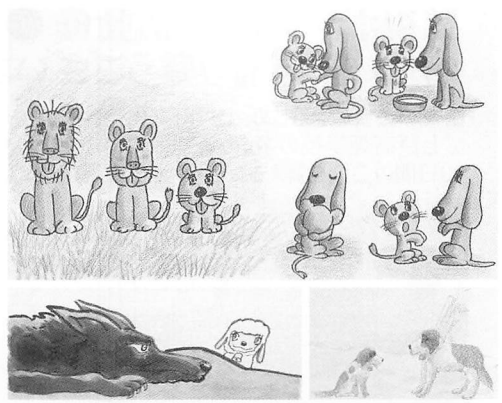
■やなせ先生直筆の書とことば
 「手のひらを太陽に」

Information

- 入館時間●
 10:00～17:30(閉館は18:00)
 ※8/1は開館記念日につき19:00閉館
- 入館料●
 一般/850(650)円
 学生/400(320)円
 小中学生/200(160)円
 ※()内は20名様以上の団体、県民カレッジ受講者、JAF会員割引料金。
 ※友の会会員の皆様は特典とお入りいただけます。
- 展示替えのための臨時休館●
 7月2日(月)～7月14日(土)
 9月3日(月)～9月7日(金)
- ◎やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

「やなせたかしの世界展」

- 皆様のご来館をお待ちしております
- ▶▶▶ 出品作品
- 「アンパンマン」から書き下ろしアクリル画
 - 絵本原画
 - 「アンパンマン」からお話30「やさしいライオン」「チリンのすず」「セントバーナードとたびびと」
 - 「詩とメルヘン」表紙原画
 - 自作の詩と書など、180余点をご紹介します



■絵本原画から■上『やさしいライオン』、右下『セントバーナードとたびびと』、左下『チリンのすず』



■七戸町倉岡地区の大銀南木

「美術館いちごっこくらぶ」

この教室は、平成17年度より平成19年度の3カ年に渡って、青い森フアンド（公益信託 青森県ボランティニア基金）の助成を受けて開催しているものです。

子どもたちのための
ワークショップから
Report!!

● ○ ● ○ ● ○ ●
いちごっこくらぶ
ま〜っと!くらぶ
● ○ ● ○ ● ○ ●

鷹山宇一記念美術館
では、今年度も小中学生
を対象とした鑑賞と造形
体験を行うワークショップ
を開催します。
今号では今年度の概要
をご紹介します。

地域の風土
・土壌から
育もうとい
うものです。
青い森フ
アンドの助
成が最終年
度となる今
年は、絵本
作家で二科
会友でも

ある永田治子氏を講師にお迎えし、季節ごとに制作した作品と言葉を中身とした絵本の制作に取り組みます。この活動を中心として、他にも様々な活動を展開します。イチヨウの根幹の如く子どもたちに成長してほしいという願いをこめ、この活動を行います。

▼活動予定 イチヨウの絵本ができるまで(全6回) / きみもやなせたかしだ! / 葉脈のしおりをつくらう / 銀細工でフラスナートップ / 銀杏を食べよう / 山海子どもサミット

「美術館あ〜と〜くらぶ」

この教室は、文部科学省の「学びあひ・支えあひ」地域活性化推進事業として開催します。

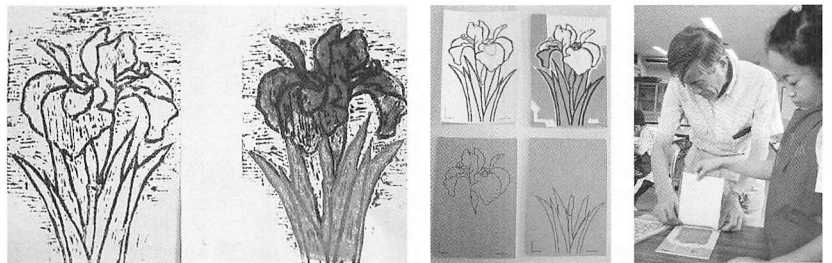
今年度は、『版画』に挑戦します。青森県は版画がさかんなことで知られています。版画家も数多く輩出しています。南部地域においては特に学校における版画教育もさかんでしたが、授業数減少、美術の教員が学校にいない等の理由から版画教育が衰退しているの

が現状です。
この状況を受け、一昨年は白黒の版画を、昨年は多色刷木版画を学ぶ教室を開催したところ、講師の指導のもと子どもたちはすばらしい作品を残しました。

今年度の事業は、住民がボランティア活動や家族参加型の体験活動を通じて、住民同士のきずなづくりを推進しようとするものです。そのため、小中学生の他に家族や大人(高校生以上)も参加の対象となります。

一年間版画制作に取り組むことで、様々な表現方法や技法を学ぶとともに、古き良き日本の伝統文化に触れ、作品をつくる喜びを味わうことを目的として活動を行います。

▼活動予定 白黒版画をつくってみよう / いろいろな版画をつくってみよう(夏休み企画) / 多色刷版画をつくってみよう / 年賀状をつくってみよう / お部屋に飾る版画をつくろう



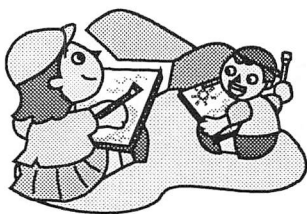
■H18年度あ〜と〜くらぶ木版画教室から

第7回鷹山賞児童作品展 作品集!!

青森県南部地方の小中学生に作品を公募する「鷹山賞展」は、郷土の画家・鷹山宇一を顕彰するとともに子どもたちに制作体験を通して豊かな感性を養い、自由な想像の喜びを味わってもらえたらと願って開催するものです。

テーマは自由。四つ切り大画用紙以内の大きさを、平成19年度制作の平面作品を募集します。締め切りは9月15日(土)午後6時まで。入賞者(概ね30名)には賞状と副賞を、このほか入選者には賞状を贈ります。
入賞・入選となった作品は、2007年11月24日〜2008年1月27日まで鷹山宇一記念美術館で展示します。

応募要項など詳しくは美術館までお問い合わせください。
●電話●0176(02)58558



なんぶっ子のご応募
お待ちしております!!

● 美術館日誌 ●

【3月】

- ▼6日/青森県史編纂室が見町観音堂棟札、順札の2点を調査。鷹山館長青森市出張(JAF会議)。美術館自動ドア修理。美術館スタッフ定例打合せ
- ▼7日/当財団収蔵作品監査会
- ▼8日/鷹山館長七戸町立天間東小學校において講演会
- ▼9日/鷹山館長、大池東京出張やなせたかし展打合せ
- ▼10日/七彩会油絵教室開催。鷹山館長十和田市出張(あしゅまる会議)
- ▼11日/友の会第3回海外研修旅行『南仏・パリ印象派を訪ねて』旅行説明会
- ▼13日/火曜サロン開催。美術館スタッフ定例打合せ
- ▼14日/鷹山館長青森県立七戸養護学校卒業式へ出席
- ▼21日/当財団H19年第1回理事会開催
- ▼23日/佐伯「七戸町地域教育力会議」へ出席
- ▼24日/当財団H19年第1回評議員会、理事・監事・評議員懇親会開催
- ▼27日/美術館スタッフ定例打合せ
- ▼28日/RABサービストの椿展打合せ会議
- ▼29日/スペイン民芸資料館ピクチャーレール修繕工事(齊下産業)

- ▼30日/友の会会報46号発送作業
- ▼31日/美術館職員・森田省子さん退職、送別会を開催



■美術館スタッフをはじめ、当財団、友の会役員等、森田省子さんに大変お世話になった面々が集い、別れを惜しみつつ、森田さんの新たな門出を祝いました。

【4月】

- ▼1日/鷹山館長青森出張北村真夕美さん出版記念パーティー出席。美術館新職員として花松朝美さん着任
- ▼3日/大池、佐伯山形県酒田市、宮城県仙台市出張やなせたかし展下見
- ▼5日/鷹山館長青森市出張(品質保証機構にて講演会)
- ▼7日/鷹山館長青森市出張(青森ペンクラブにて講演会)
- ▼10日/RABサービストの椿展打合せ会議。美術館スタッフ定例打合せ
- ▼11日/青森県発行の観光情報誌「北彩紀行」当美術館を取材、館内外を写真撮影

- ▼13日/大池東京出張(アートになった椿展作品借用のため立ち会い)
- ▼14日/鷹山館長いらせ町出張(あしゅまる会議)。友の会H18年度監査会。七彩会油絵教室開催
- ▼15日/友の会研修旅行開催「NHK日曜美術館30周年記念展」(岩手県立美術館)
- ▼17日/展示替えのため臨時休館(21日迄)。美術館スタッフ定例打合せ
- ▼18日/鷹山館長野辺地町出張
- ▼19日/美術館主催研修旅行「故宮博物院展」(県立郷土館)開催。「アートになった椿展」作品搬入(東京マリエ美術)
- ▼20日/「アートになった椿展」作品展示作業、あいおい損害保険株式会社広報部・倉田様ご来館、作品点検
- ▼21日/「アートになった椿展」開催式、レセプションパーティー開催
- ▼22日/「アートになった椿展」初日
- ▼23日/鷹山館長六ヶ所村、十和田市出張講演会講師
- ▼24日/鷹山館長七戸町観光協会総会へ出席
- ▼28日/七彩会油絵教室開催

【5月】

- ▼8日/当財団顧問石坂氏来館。美術館自動ドア修理
- ▼9日/美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼12日/七彩会油絵教室開催。美術館スタッフ定例打合せ
- ▼15日/当財団H18年度監査会

★新スタッフのご紹介★



■花松朝美はなまつ・あさみさんです。退職いたしました森田さんに代わり庶務を引き継ぎました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ▼17日/鷹山館長八戸市出張(住友生命にて講演会)
- ▼19日/ライズハウス自治会23名様ご来館。20日開催のお呈茶準備。友の会鷹山宇一生涯百周年記念会報編集委員会、役員会開催
- ▼20日/茶道裏千家七戸会によるお呈茶のサービスクレジット。七戸町商工会女性部主催七戸巡り40名様ご来館
- ▼22日/鷹山館長、佐伯「県民力レτζジ会議」出席(上北教育事務所)。鷹山館長、大池東北町出張(やなせたかし展打合せ、JA八甲田本店)
- ▼23日/南部子どもサミット打合せのため遠野市担当者、七戸町生涯学習課担当者ご来館。佐伯、南部子どもサミット打合せ会議へ出席
- ▼26日/当財団H19年第2回理事会、第2回評議員会を開催
- ▼29日/JAいたやなぎ女性部34名様ご来館
- ▼30日/七戸町立城南小学校5年生児童46名、引率教員2名ご来館

セザンヌ・モネ! 印象派の作品に感動!!

第3回海外研修旅行「南仏・パリ印象派を訪ねて」が、6月2日から9日まで34名の会員参加により実施されました。奥山団長ほか3人の会員の旅行記をご紹介します。

南仏・パリ旅行記1

南仏・パリ 印象派を訪ねて

団長(副会長)
奥山雅子

この度の企画は第1回のスペイン、第2回のイタリアに続く第3回目の友の会海外研修旅行です。私は、日芸4年在学中の娘の初めての

海外旅行(心配で一人で海外に出せない主人の言いつけ)でもあって参加しました。

今回はヨーロッパ観光シーズンの真っ只中の旅行なので、団長の私が持つこととして「友の会旗」を作りました。小泉さんに持って頂きました。人混みの中、はぐれることなく移動でき安心でした。

私は団長として、参加された皆様



ニース・シャガール美術館前で記念写真 (館名表示がありませんでした。)

心から安堵し、感謝しております。また、ブル美術館、オ術館を案内して下さいます。大学の留

にスケジュール、ホテル、食事に気を配ったつもりです。ご不満や不足の点はあったと思いますが予算(計画当初よりユーロ高騰のため)以上の旅行になったのではないかと思います。何回も打ち合わせに来てくれた近畿日本ツーリストの斎藤さん、いつも笑顔で接してくれた添乗員の小畑さん本当にありがとうございました。次の第4回海外研修旅行のため今回の旅を検証し、参加して下さる会員の皆様により安全で快適な研修旅行になるように努めていきたいと思ひます。

ボンジュール

弘前市 中村昭雄

驚愕と無知の旅であった。一抹の不安と楽しみが混在していた。まさに無経験。遅れないように皆さんに着いていく、我ら二人であった。それにしてもどなたの顔も、楽しさがあふれんばかりに満面に笑みが絶えることはなかった。食事毎に違う方たちとの会話、その話題性に驚嘆、素晴らしい人達であった。

モネの絵、その長大な絵の中でも青色を主とした絵、心の安らぎを覚え去りたい思いの一枚であった。庄巻はパリ市内、コンコルド広場より見渡す石造りの建造物。建物間に隙間がなく道路空間だけ。如何なる人、国も侵す事を拒む要塞そのものであった。そしてモン・サン・ミ

ッシエル、8世紀頃の建造物として、その巨大さと美しさに大きな感銘を受け、過ぎ去るのを忘れてしまった。次回も参加したい。

メルシイ、メルシイ、ボクウ!

『印象』の変化を楽しむ

東京都 田中党子

初めての渡仏は約二十年前。街中にクリスマスイルミネーションがキラキラとあふれていた季節でした。それとは対照的に、薄暗いながら数多くの美術品がひしめいていた当時のルーブル美術館は、何百年も昔にタイムスリップしたような感覚と、非常に重々しい印象が残りました。その後、ガラスのピラミッドが建ち、内部をリフトオームした今のルーブルは、明るく軽やかな印象。展示品は場所も含めほぼ変わらないのに、受ける印象がガラリと変わるといっては不思議です。

オランジュリー美術館でも、興味深い変化がありました。以前、モネの「睡蓮」部屋は窓の無い空間で、その閉塞感がより幻想的に魅せていたような気がします。今は、モネの希望通り自然光の入る展示室に改築。ジベルニーの庭で見た睡蓮の世界そのままに、瑞々しい印象を受けました。同じ『印象派』の画でも、展示環境の違いで、自分が受ける『印象』の変化を楽しみむという見方も面白い。企画して下さった事務局の皆様、ありがとうございます。

南仏・パリ研修旅行記2

ファンタスティック フランス!! むつ市 山口和也

アンドレ！冬には鷹狩の名手ムッシュ・ジャンの解説マルモッタン美、ドランの「美しいモデル」とバラの絵オランジュリー美、壁画も天井画も彫刻もルーブル美、カリエール、言葉にならぬクールベ、マネの画くイルマそして画かれる側としても第一級モリゾ珠美しゅひよくオルセー美、ニースのシャガールに始まり、天使の



ニース プロムナード・デザングレにて

湾で泳ぎ、レモンの輪切り浮かぶビールと大聖堂のオルガンと法王庁前広場のジャズデュオに酔い、木洩れ美に小鳥も美声モネ庭園世界中のファンを魅了し淡紅色の花が好きだったグレース妃と歌姫テレサ・テン、着物姿の与謝野晶子にパリジェンヌも過去を振り返り美人、オペラ座は赤い衣装のエレーナにブラボー、artを文字りあいに図らんや冠かんした近ツー印象派を訪ねての旅で一葉の絵や歌は愛と知すれ、女流彫刻詩人カミーユ美術館が実現したら、七戸町鷹山宇一記念美術館友の会企画メルシイ南仏・パリにまた来たるべ、ボンジュール、ダイアナ妃、オスカル！



ルーブル美術館 ピラミッド地下

新規会員入会のお誘いと 会員登録更新のお願い

平成19年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有難うございます。

早速に更新された会員の皆様に厚く御礼申し上げます。総会も終わり、新年度事業のスタートになりましたが、皆様には一層のご理解とご協力を賜りたく、特に新規会員の勧誘をお願い申し上げます。更新手続きがまだの会員の方は引き続き会員登録の更新をお願い申し上げます。

なお、更新手続きは、美術館窓口で随時行っております。

○一般会員

会費(個人) 年度会費3千円

特典

- ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
- ② ミュージアムグッズ1割引
- ③ 研修会、講演会への招待、優待
- ④ 他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤ 会報の配布

○特別会員

会費(個人・法人) 年度会費1万円

特典 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費(個人・法人) 年度会費2万円

特典 一般会員特典に加えて

- ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ② 新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③ 特別企画展の都度、招待券を贈呈

■詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

ご意見を
お寄せ下さい。

- ★ 会員の皆様からのご意見(要望)をお待ちしております。
- ★ 友の会事業全般について
- ★ 鷹山宇一 生誕百年記念事業について
- ★ 国内外研修旅行先について
- ★ 会費納入方法について
- ★ その他

編集後記

★ 第3回海外研修旅行「南仏・パリ印象」を訪ねてに参加しました。シャガール美術館の「聖書のメッセ」には深く心を動かされました。ピペルーのモネのアトリエやマルモッタンの美術館で親た「印象・白の館」に感動。34名の参加者それぞれ思い出を胸に帰国。お疲れ様でした。

★ 海外研修のレポート掲載のため、連載「幡山つとどんな人」はお休みさせていただきます。

★ 総会も終わりほつとします。本年度もよろしくお願いたします。(E.T.)